

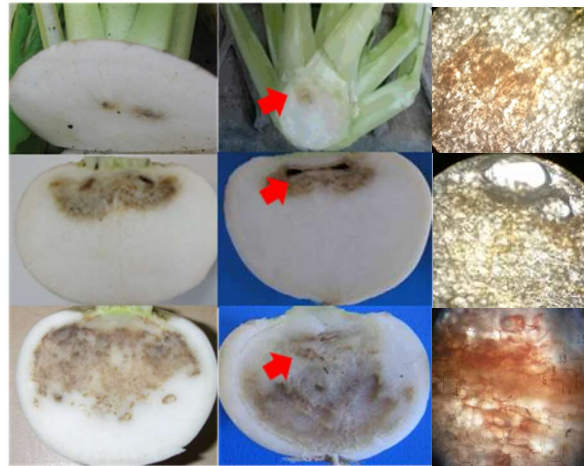
生産現場で発生するカブの根内部黒変症に関する発生要因の解明と対策技術

本県のカブ出荷量は全国2位を誇ります。2014年ごろ、県内の主産地では、カブの食用部分が褐色に変色したり、空洞化する「黒変症」と呼ばれる原因不明の症状が多発しました。

この研究では、土壌の栄養素(カリウム)不足と収穫前3週間の低日照や強風などが「黒変症」の発生原因であることを解明しました。また、対策技術として、カリウム肥料を多めに施肥することや症状の発生しにくい品種を導入することが有効です。これらをまとめた「対策マニュアル」を作成しました。



再現試験(低日射と風処理)

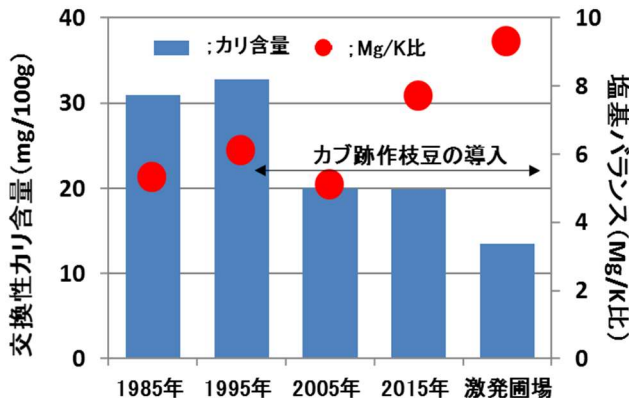


<現地圃場>

<再現試験>

カブの黒変症の症状

カブの再現試験(左、中央)と矢印部分の顕微鏡写真(右)



土壌モニタリング調査の結果
土壌モニタリング調査のデータを引用
(n=60)。



回復した生産地(川越市)
カブ産地の航空写真(左上)と生産地(右下)